

10月23日（月）～11月25日（土）に秋の健康診断、インフルエンザワクチンの接種を受診してください。期間内に受診しない場合、自費になります。

## 高 電動車いすとの事故を防ごう

高齢者の生活をサポートする乗り物の1つに、電動車いすがありますが、近年、電動車いすの不注意による重大事故が多発していることをうけ、独立行政法人製品評価技術基盤機構（n i t e）は注意喚起を行っています。事故事例としては、利用者が操作を誤り林道から転落したのや、踏切を渡ろうとした際に脱輪して動けなくなり、列車と接触したもの等が挙げられています。

また、事故の原因としては、電動車いすに不慣れなことや、操作を誤ることが多くなっています。そのため、車を運転中に電動車いすに乗る高齢者を見かけた場合、まずは転倒や急な進路変更を予測してください。合わせて、追い抜く際には側方間隔をしっかりと確保するように努めましょう。電動車いすを見かけた際には決して邪魔者扱いするのではなく、温かい気持ちで見守ってあげてください。

## 路 運転時の感情をコントロールしよう

線バスにあまり運転をされ、恐怖を感じたという市民の訴えを受けて、仙台市交通局が謝罪しました。ドライブレコーダーの映像をもとに市に被害を訴えた男性（58歳）によると、「7月27日午前10時ごろ、買い物などを終えて車で帰宅途中、県道から市道に曲がったところで後続の市バスに詰め寄せられた。バスが方向転換を行う回転場までの約1キロの間あまり運転を受けた」といいます。映像では、市バスが猛スピードで男性の車に急接近し、道路中央のゼブラゾーン（導流帯）を使って威圧するかのように見えるとのこと。男性は「市道に曲がったところで前方の信号が赤だったので低速で走行したら、あり得ないほどバスが近づいてきた。あおられ、クラクションまで鳴らされ、怖かった」と訴えています。市バス側は「運転者が意図的に近づいたのではない」と釈明したうえで、「始発時刻に遅れそうで、イライラしてあおったと受け取られても仕方がない」と謝罪しています。

どうやら、低速の車にイライラしたようですが、あおられたと感じる側の恐怖感是非常に大きく「妨害運転」が適用されると重い罰則があります。運転時はカッとしないで、怒りをコントロールし、とくに車間距離には十分注意して走行しましょう。

## 横 高速道路上でのまさかの事態に注意しよう

浜市西区の首都高速道路横羽線で、高速道路を走っていた自転車に乗用車にはねられる事故が発生しました。警察は、自転車が誤って高速道路に進入したとみて、詳しい状況を調べています。この事故を起こした運転者も、まさか自転車が高速道路を走っているとは思わなかったでしょう。しかし、高速道路上では、このほかにも「本線上に歩行者が立っていた」「逆走車が現れた」といった「まさかの事故」がたびたび発生しています。高速道路を運転する資料する際、まずは「まさかの事態」を頭に入れておくとともに、スピードは控えめに運転してください。